

英語活動 News5 2021

Enjoy speaking English

3回目の国際交流 河北新報で取り上げられました

2021年(令和3年)6月22日(火曜日)

交流の締めくくりとして、画面越しにオーストラリアの小学生に手を振る平沢小の児童たち。蔵王町の



食通じ英語交流

豪の小学生 そばと枝豆◎

蔵王町平沢小の5、6年生計14人が18日、英語授業の一環で、オーストラリアの小学生とのオンライン国際交流に臨んだ。クイズや文化の紹介を通じ、英語によるコミュニケーションに親しんだ。

国語教育の特区指定を受け、町教委は2018年度以降、小学校で1～4年生に年間35時間、5、6年生に70時間の英語授業を行っている。オンライン交流は仙台市のエージェントを通じて実現。今後は歴史的につながりのあるバラオとの交流も探る。

ニューサウスウェールズ州の私立小で日本語を学ぶ1～6年生とオンラインでつながった。それぞれの国の食べ物を学ぶコーナーでは、平沢小の児童がオーストラリアの発酵食品「ベジマイト」、画面の向こうでは枝豆とそばを体験。風味が独特のベジマイトは好き嫌いが分かれたが、枝豆とそばは現地でも好評だった。

5月14日にオンラインで自己紹介を

終えていたこともあって、交流は和やかに進んだ。6年の市川芽衣さん(11)は「前より緊張せずに楽しめた。いつか英語で外国の人と話したい」と刺激を受けていた。

町の英語教育の特区指定を受け、町教委は2018年度以降、小学校で1～4年生に年間35時間、5、6年生に70時間の英語授業を行っている。オンライン交流は仙台市のエージェントを通じて実現。今後は歴史的につながりのあるバラオとの交流も探る。

町教委の文谷政義教育長は「子どもたちの英語を聞く耳が育ってきている。特区指定の10年間、英語教育に力を入れる」と話す。

蔵王・平沢小 ベジマイト△